

◇ 氷温学会誌「氷温科学」の投稿規定および要綱 ◇

「氷温科学誌」は、氷温科学の構築と発展を目指して氷温科学の理論的解明および実践方法の確立に関連した技術に関する論文の掲載を目的として発行するものである。

1. 投稿資格：投稿は会員に限るが、共著者に非会員を含むことができる。ただし、編集委員会が寄稿を依頼した場合はこの限りではない。
2. 報文の種類と発行：本誌には氷温に関する総説、論文、短報、技術ノート、解説、論説を掲載し、発行は原則として年1回とする。報文は全て原著とし、他誌に未発表のものに限る。論文は独創的な研究で、新しい事実と価値ある結論を有するものである。短報は論文より短い、新しい事実や価値ある結論の含まれるものである。技術ノートは氷温に関する技術的研究や実用的研究を扱ったもので氷温の研究・実践活動に有用な情報を含むものである。
3. 校閲：受け付けた論文、短報、技術ノートについては、原則として複数の校閲者により査読され、その結果をもとに、編集委員会は掲載の適否を決定する。
4. 使用言語と原稿枚数の制限：使用言語は原則として日本語とし、論文および短報には英文の Abstract を付ける。それぞれの原稿枚数は原則として刷り上がり 10 ページ以内および 5 ページ以内とする。また、総説は 15 ページ以内、技術ノートは 7 ページ以内とする。
5. 原稿の用紙と書き方：原稿は、縦長 A4 判 (210 mm×297mm) の用紙に横書きとする。字の書体や大きさは問わないが、英文字、数字は半角で入力する。ただし、図 1 や 2mm のように数字が 1 字の場合は、全角入力とする。なお、200 mm などのように単位付きの数字を入力する場合は、数字の末尾 (0) と単位の先頭 (m) の間に半角スペースを入れる。ただし、% の場合は半角スペースを入れてはならない。
6. 原稿の構成：総説、論文および短報は、第 1 ページには表題、著者名、所属、原稿の種類、連絡先 (電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス) を記し、第 2 ページより和文要約、本文、謝辞、引用文献、図、表の説明をこの順に書く。論文および短報には Abstract (200 語以内、ダブルスペース)、Key words (英語 5 語以内) を付ける。表題、著者名、所属は英名も付記する。技術ノートでは、英語の Abstract および Key words を除いてもよい。その場合、日本語の要約およびキーワードを付ける。
7. 原稿の部数と送付図表：原稿は図、表を含めてすべて 3 部を送付する。そのうち 2 部はコピーでもよい。ただし、細部の判定を要する写真を含む場合は、3 部とも原写真または上質紙を用いたコピーを添付する。

8. CDの入稿：上記原稿のほか、入力したCDを添付する。本文等（図を除く）はテキスト形式で保存する。
9. 校正：著者校正は二校とし、原則として印刷ミスについて行う。本文や図、表の変更は避ける。著者校正以後は編集事務局が責任をもって行う。
10. 別刷：50部単位で注文することができ、別刷代は全額著者負担とする。
11. 注釈：脚注は原則として用いない。文部省科学研究費補助金（課題番号）などを受けたことを注記する場合は、謝辞の中でその旨を述べる。
12. 引用文献：本文中での引用文献番号は、1)、2)、3)などを用い右肩付きとする（たとえば、福間・山根¹⁻³⁾は、山本ら⁴⁾⁵⁾によると、Schwart & Rank⁶⁻¹⁰⁾は、Lars et al.¹¹⁾が)。配列は引用順とする。引用文献には、本文中で引用した文献のみを収録し、それらをすべて列記する。本文中で「ほか」または「et al.」と省略した人名もすべて列記する。

引用文献はつぎの形式を参考にして記載する。

 - 1) 松田弘毅・安藤一・山根昭美（1982）二十世紀ナシの非破壊品質評価法に関する研究（第3報）－光透過特性に光反射特性を組み合わせた糖度の分級精度の向上について－。鳥取県食品加工研究所報告 27：9-12.
 - 2) 酒井 昭（1982）植物の耐凍性と寒冷適応－冬の生理・生態学－。学会出版センター、東京.
 - 3) 樋口広芳（1984）種分化と資源分割。（森岡弘之・中村登流・樋口広芳、編：現代の鳥類学）pp. 216-236. 朝倉書店、東京.
 - 4) Weinerb, M. M. & Y. Sharav (1964) Tooth development in sheep. *Am. J. Vet. Res.*, 25 : 891-908.
 - 5) Reeves, W. J. Jr. & Fimognari, G. M. (1966) L-Lactic Dehydrogenase. In : *Methods in Enzymology IX* (ed. by Wood, W. A.) pp. 288-294. Oxford University Press, Oxford.
13. 表：表は1ページ内に印刷できる大きさを考慮し、ダブルスペースで、縦罫は原則として使用せず、1点ずつ別紙に記載する。表の説明は英文も可とし「表1. . . .」または「Table 1. . . .」のようにして表の上に記述する。

本文中の挿入位置を原稿の用紙の右余白に記入する。
14. 図（写真を含む）：図は印刷時の1~2倍の大きさにして、そのまま製版できる状態に仕上げ、1点ずつ別紙に作成する。写真は原寸大とする。図の説明は英文も可とし「図1. . . .」また「Fig. 1. . . .」のようにして別紙にまとめる。

本文中の挿入位置を原稿用紙の右余白に記入する。

15. 単位と記号：単位は原則として国際単位（SI）に従う。単位の略号や記号などの例：長さ；Km, m, cm, mm, μ , m, Åなど、面積；h, ha など、体積；k, r など、重さ；kg, g, mg, μ g など、時間；hr, min, sec など、統計；CV, d. f., F, N, SD, SE, t, χ^2 など、その他；J（ジュール）, Hz, %, °C など。

16. 原稿送付先ならびに問い合わせ先：

〒683-0101 米子市大篠津町 3795-12 氷温学会

「氷温科学」編集事務局 宛

TEL：0859-28-5000

FAX：0859-28-5010

E-mail：info@hyo-on.or.jp